新品種の特性

作物名 レタス 系統名 長・野 50 号 育成場 野菜花き試験場

【品種特性の概要】

- ○レタス根腐病レース1及びレース2*1耐病性。
- ○チップバーン※2の発生が少ない。
- ○晩抽性^{※3}。標高 1,000m以上の産地の盛夏期収穫 作型に適する。
- Oサリナスタイプ^{※4}。
- ○球底部の形状は、凹凸が少なく、丸く整っている。

※1:レタス根腐病

特定のフザリウム菌 (カビの仲間) による重要病害。発病すると生育不良となり、商品性が低下する。同じ特定のフザリウム菌でも品種により被害の程度が異なり「レース」で区別される。

※2:チップバーン

葉の縁が茶色になる生理障害。

※3:晚抽性

長日・高温でも茎が伸びにくい性質。玉レタスは、夏に向かう(日が長くなり気温が上がってくる)と、茎が伸び、商品性が低下する。収穫期の芯の長さで判断する。

※4:サリナスタイプ

玉レタスの2大品種群のひとつ。葉の表面の起伏や縁の刻みが少なく、葉が厚い。

【対照品種との比較】

	品種群	地上部重	調整球重	球形			芯長	レタス根腐病抵抗性	
		(g)	(g)	縦径 (cm)	横径(cm)	縦/横比	(cm)	レース 1	レース 2
長・野 50 号	サリナス	711	573	12. 9	16. 4	0.78	5. 5	耐病性	耐病性
対照品種	サリナス	935	636	13. 7	17. 5	0.78	4.9	感受性	耐病性
参考品種 シナノパワー	マック・ エンパイヤ	777	555	11. 5	17. 2	0. 67	4. 7	耐病性	耐病性

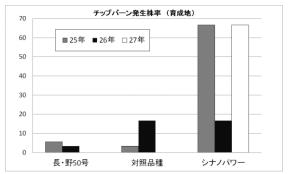
※対照品種は、長野県の標高 1,000m以上の産地における盛夏期収穫作型の主要市販品種。

参考品種「シナノパワー」は、長野県育成登録品種。マック・エンパイヤタイプ(葉が薄く、縁の刻みが多く、波打っている。)で、長野県の標高 700m~1,300mの産地における夏秋期収穫作型に適するもの。

※系統名「長・野 50 号」は、"長"野県が育成した"野"菜(一部の品目を除く。)で、特性が優れているとして系統名を付与した 50 番目のものであることに由来。









「長・野 50 号」の形状

「長・野 50 号」(写真①)は、 対照品種(写真②)より葉の長 さがやや短い。

球底部の形(写真③)は対照 品種と同等に優れる。 ※育成地での調査においては、平成 27 年は、「長・野 50 号」及び対照品種ついては、チップバーンの発生が認められなかった。